

2023年 度 (第 120期)

# 株 主 通 信

2023年 4月 1日 — 2024年 3月 31日



水 が 途 切 れ な い 世 界 を 実 現 す る

## トップメッセージ

### 諸物価が高位な中、価格改定に対するお客様のご理解や 継続的なコスト削減等により、対前年度減収増益となりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社2023年度(第120期)(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業概要等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石毛 俊朗



### 当期の経営成績の概況について

2023年度は、全国的な水道管路布設工事の遅れや水道事業体の発注量の減少等により、鑄鉄管販売量が前年度比減少したことや、世界的なインフレや円安等の影響による原材料価格・エネルギー価格・物流費等の諸物価が高位に推移していることが収益圧迫要因となりました。このような事業環境下で、諸物価の高騰について、お客様にご理解いただきながら販売価格の改定を進めたこと、またコスト削減の積上げや受注領域の拡大等で、前年度比増益となりました。

当社はカーボンニュートラルへの取り組みとして2022年6月に電気炉建設チームを設置し、国の目指す排出CO<sub>2</sub>の削減目標の実現に向けて検討を進め、電気炉を導入し、キュポラ炉からの転換を図ることを2023年8月7日に決定し、公表いたしました。

当社の主力製品であるダクタイル鉄管は、老朽化に伴う更新需要はあるものの、業界全体の生産設備が過剰な状態にある環境下、当社と株式会社クボタ(以下クボタ)は、今後も社会インフラを支える企業として供給責任を果たしていくため、生産設備を再編し、クボタの京葉工場で生産している小口径(呼び径75mm~250mm)のダクタイル鉄管(直管)の完成品及び半完成品をOEM供給する製造合弁会社(当社の子会社として、久喜工場のダクタイル鉄管(直管)の製造部門を分社)の設立について、協議を進めております。

また、当社は、パーパスとして「水が途切れない世界を実現する」に向けて取り組み、「管路分野のInnovative All inワンストップ企業」としての活動を行っております。既存事業とのシナジーを期待する新規・周辺事業の拡大等の取り組みについては、さや管推進工法対応部品「オセール」の拡販、プリセット接合工具「楽ちゃく」新サイズの開発、DX推進の一環として開発を行ってきた「だいさくくん」の販売促進、Fracta社とのパートナーシップによるFracta-AI管路診断技術の普及促進があり、将来に向けた活動を引き続き推進しております。

当社はESG経営を進め、継続的に発展していく企業を目指し、環境変化に柔軟かつ迅速に対応できる企業体質の強化を引き続き推し進めてまいります。

当連結会計年度の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、諸物価の高騰に伴う販売価格の改定による増収はあったものの、全国的な水道管路布設工事の遅れ・水道事業体の発注量の減少等により、4億28百万円減少の、168億59百万円(前年同期比マイナス2.5%)となりました。

収益につきましては、鑄鉄管販売量の減少があったものの、諸物価の高騰についてお客様にご理解いただきながら販売価格の改定を進めたこと、コスト削減の積上げや受注領域の拡大、さらにスポット工事請負案件の受注やグループ会社での売上増等の一過性増益要因も加わり、営業利益は3億39百万円増加し8億60百万円(前年同期比プラス65.0%)、経常利益は3億20百万円増加し8億96百万円(前年同期比プラス55.6%)、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に中子設備移設撤去費用や電気炉建設予定地に干渉する静圧鑄造ラインの解体費用等を固定資産除却損として1億39百万円を計上しましたが、1億12百万円増加の4億75百万円(前年同期比プラス31.1%)の利益となりました。

引き続き、皆様のご期待に添えるような企業運営に努め、さらなる安定利益を確保するよう一層努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



売上高

**16,859** 百万円 (前期比 2.5%減↓)

経常利益

**896** 百万円 (前期比 55.6%増↑)

営業利益

**860** 百万円 (前期比 65.0%増↑)

親会社株主に帰属する当期純利益

**475** 百万円 (前期比 31.1%増↑)

■ 売上高 (百万円)

■ 営業利益 (百万円)

■ 経常利益 (百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)  
 ● 1株当たり当期純利益 (円)

■ 純資産 (百万円)  
 ● 1株当たり純資産 (円)

■ 総資産 (百万円)



日本鑄鉄管が掲げる企業理念

[ Vision 最終的な企業の未来予想図 ]

水道管路の変革を先進し、世界随一の水道インフラを持続させる

[ Purpose 存在意義 ]

水が途切れない世界を実現する



# インフラを支える 日本鑄鉄管の製品

日本鑄鉄管は、ダクタイル鉄管・ポリエチレン管・鉄蓋の製品によって、「水」と「ガス」のライフライン構築を通じ、人々の暮らしの安全・安心を守っています。

[ Purpose 存在意義 ]

## 水が途切れない世界を実現する

日本鑄鉄管の製品は様々な技術やサービスによって、パーパスの「水が途切れない世界を実現する」に貢献するとともに、水のみならずガス管など広くインフラを支えています。



### 鉄蓋

上下水道や都市ガスなどの管路メンテナンスに欠かせないもので、機能面では開閉作業を容易にした構造、ガタツキ防止、浮上防止などの新技術を随所に取り入れています。下水用のほか、水道用・ガス用・CC・情報BOX用鉄蓋、オプション工具なども取り扱っております。



### 関連製品 DXツールアプリ「だいさくくん」

事業者様・点検業者様向けに、下水道のマンホール蓋・本体の点検・調査から維持管理までをスマートフォンやタブレットで効率的に包括できるDXツールアプリです。



### POINT

GPS地図連動！プルダウン入力で正確に！  
点検調査記録表・台帳用データ集計表の自動作成  
従来と比較して点検調査を効率化

### ダクタイル鉄管

当社のダクタイル鉄管は、組織の中の黒鉛を球状化させることにより、強靱性、耐食性、加工性などの優れた特性を発揮し、上下水道やガスなどの各種管路用として幅広く使われています。



GX形



NS形

### POINT

自然災害に強い！  
ハザードレジリエントダクタイル鉄管



Hazard . . . . . 自然災害に対して  
Resilient . . . . . 復元力の高い、またはしなやかな強靱性を持った  
Ductile Iron Pipe . . . . . ダクタイル鉄管

様々な“ハザード(自然災害)”に対して、強くてしなやかな“レジリエンス(強靱化)”に富んだ耐震型ダクタイル鉄管を総称した呼び名です。耐震型ダクタイル鉄管は、地震に強いだけでなく、津波や液状化などの二次災害、近年増加している台風・豪雨などの災害においても、強靱な管体と優れた継手性能によりその有効性を発揮しています。

### ポリエチレン管 (ガス用ポリエチレン管)

軽量で施工性、耐食性、柔軟性に富み、管路一体化構造により、地震や地盤沈下にも強いという優れた特性を備えています。当社のガス用ポリエチレン管は、可撓性、柔軟性に富んだ材質を使用し製造しており、災害に強く耐震性に優れたガス導管材料です。あらゆる土壌に対応でき、腐食・電食の心配がありません。



### POINT

#### 優れた品質

ガス用ポリエチレン管は、PE80を主原料としており、高い強度や長期耐久性とともに柔軟性、耐衝撃性などを合わせ持っています。

#### 高い耐震性

EF接合により同一のポリエチレン管材料で管路が構成されるため、継手が離脱することなく、一様な強度を持つ一体構造管路が構成され、地震による地盤のゆがみを管路の柔軟性で吸収して高い耐震性を発揮します。

#### サポート工具



楽ちゃく(プリセット接合工具)



オセール

#### 関連サービス

#### 管路DB方式

管路更新事業の設計・施工を一括で発注できる方式です。まとめて発注することで工期の短縮ができ、管路更新事業の効率化が図れます。



## ESGの取り組み 新入社員による美化活動を実施

地域貢献活動の一環として、4月入社の新入社員による美化活動を実施しました。当社の久喜工場からスタートし、付近を流れる備前堀川周辺まで行いました。

当社は2022年より、近隣企業と連携し定期的に美化活動に取り組んでいます。水道管に携わる企業として、この活動によって河川敷のゴミを減らし、きれいな川、そしてきれいな水を守っていきたくて考えております。工業団地内の久喜菖蒲公園を訪れた方や近隣住民の方に気持ちよく過ごしていただけるよう、当社はこれからも地域貢献活動に積極的に取り組んで参ります。



## 会社・株式情報 (2024年3月31日現在)

### ■ 会社概要

会社名	日本鑄鉄管株式会社 NIPPON CHUTETSUKAN K.K.
設立	1937(昭和12)年10月
本社所在地	東京都中央区築地一丁目12番22号 コンパビル
資本金	18億5,500万円
従業員数	313名
連結子会社	日鑄商事株式会社 株式会社鶴見工材センター 日鑄サービス株式会社 株式会社イガラシ

### ■ 役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長執行役員	石毛 俊朗
取締役執行役員	長谷部 圭一
取締役	奥村 一郎
取締役	山内 崇
取締役	秋山 礼子
常勤監査役	高舘 健二
監査役	宇田 斉
監査役	稲永 宏和
執行役員	大木 勝裕
執行役員	小倉 健次
執行役員	清水 孝
執行役員	橋本 謙治
執行役員	田野 学

(注) 1. 奥村一郎、山内 崇の両氏は、社外取締役であります。  
2. 宇田 斉、稲永宏和の両氏は、社外監査役であります。  
3. 奥村一郎、宇田 斉の両氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

### ■ 株式の状況

発行可能株式総数	12,800,000 株
発行済株式の総数	3,293,074 株
株主数	3,206 名

### ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
JFEスチール株式会社	960	29.88
東京瓦斯株式会社	333	10.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	87	2.73
松原明男	66	2.06
株式会社W不動産	60	1.87

(注) 1. 当社は自己株式(80,014株)を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。  
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

### ■ 所有数別状況



### ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
配当金受領	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主確定日	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

## コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトでは、決算情報、リリースなど、最新情報を掲載しておりますので是非ご覧ください。

日本鑄鉄管 検索 <https://www.nichu.co.jp/>

